

プレスリリース カテゴリー (スポーツ)

2017年2月10日

報道関係者各位

親亡き後、貧困に負けずにスポーツで社会とつながりを
知的障がい者が無料でスポーツに参加できるように74万円の調達を目指す

障がい者スポーツ団体、スペシャルオリンピックス日本・青森 (SON青森) は、2月27日に2回目となるクラウドファンディング (CF) を公開する。SON青森は年間を通して知的障がいのある人に定期的なスポーツの機会を提供。オリンピックに準じた競技である水泳やバスケットボール、陸上、サッカー、スケート、スキーなどに県内52名の知的障がい者がボランティアコーチの指導のもと取り組んでいる。しかし、短命県青森では毎年、障がい者の親が亡くなる事態が立て続き、昨年だけで障がい者の父親 (または母親) が3人も亡くなった。知的障がい者は貧困しやすく、親が亡くなることでプール入場料やリンク入場料などのスポーツにかかる費用の負担が困難になりやすい。無料で参加できるように、昨年からは街頭募金や店頭への募金箱の設置などに取り組んできた。幸い、必要な20人分のうち10人分は既に確保できたので、CFで残り10人分の調達を目指す。支援者には金額に応じて、青森ひばうちわやオリジナルTシャツ、長いも、りんごジュースなどがお礼品として送られる。

【URL】
<https://readyfor.jp/projects/sonaomori1702>
【内容】半年間10名分の施設利用料等を募集
【期間】2月27日～4月17日 (50日間)

◎3月18日にオーストリアで開幕するスペシャルオリンピックス世界大会に派遣される日本選手団の個人負担 (10万～20万) を援助するため、調達金額の3%が使われる。
◎クラウドファンディングとはインターネットを使いクラウド (群衆) からファンド (資金) を集める方法。3.11以降、復興や地域振興、市民活動での活用が広まる。目標金額を達成できなければ、支援者に全額返金される。



水泳競技会



【国際本部】Special Olympics (米国・ワシントンDC)
【国内本部】公益財団法人スペシャルオリンピックス日本 (有森裕子理事長)
【認定地区組織】スペシャルオリンピックス日本・青森
【種別】任意団体 【地区組織代表者】会長 土岐 司
【設立】2004年11月20日 【会員数】135名 (2016年度)
【活動】スポーツを通じた自立と社会参加の実現
【参加者】9歳～41歳 (参加には年齢上限がない)
【事務局】青森大学・宮川研究室
【活動拠点】弘前・青森・八戸
【URL】<http://son-aomori.org/>

《本件に関するお問い合わせ》
スペシャルオリンピックス日本・青森PR担当の竹洞兼視 (タケホラケンジ) までお願いいたします。
TEL 090-6221-3785 (平日17~20時) FAX 050-3730-9109 E-mail nekohat@gmail.com